

医科新聞 3月号

花粉症の話題

医療法人社団慶実会

グレースデンタルメディカルクリニック横浜分院

神奈川県横浜市緑区長津田町 2258-2

花粉シーズンですが、環境省によると、東京や神奈川など12都府県で、花粉を飛散させる雄花の芽の数が多く非常に多い量の花粉が飛散しています。東京、神奈川では、過去10年間で最も多く、花粉の飛散量が非常に多くなります。



例年比 ▽東京は150% ▽神奈川は194%

去年の夏に日照時間が長く、気温が高い日が多かった為です。

日本での正確な人数はわかりませんが、花粉症の有病率は

▽2008年には29.8%、▽2019年には42.5%で増加しています。

花粉の飛散が多いと症状が強くなり、これまで症状がなかった人も初めて発症する場合があります。花粉症の症状である鼻づまりやくしゃみなどが仕事の能率に大きく影響を与えます。花粉症患者の多くは睡眠障害も訴えていて、日中の仕事での集中力に影響が出るとか昼間に眠気があるおそれがあります。

view39

現在、アレルギー検査で調べられる項目数は200種類以上あり、1回の採血によって1種類から複数種類の特異的IgE抗体を調べることが可能です。何に対してアレルギーが出ているのか分からない場合は“view39”と呼ばれる、アレルギー症状を起こしやすい39項目の代表的なアレルゲンを一度に検査できるセットがおすすめです。

調べられる項目は、吸入系・その他アレルゲン（ヤケヒョウヒダニやハウスダスト、ガ、ゴキブリ、ラテックス、カモガヤ、オオアワガエリ、ブタクサ、シラカバ、スギ、ハンノキ、ヒノキ、ヨモギ、カンジダ、アルテルナリア、アスペルギルス、マラセチア、猫や犬のフケ）の19種類に加え、食べ物系（卵白や牛乳、小麦、牛・鶏・豚の肉、大豆、ピーナッツ、米、ゴマ、マグロ、サケ、サバ、エビ、カニ、オボムコイド、ソバ、リンゴ、キウイ、バナナ）20種類を調べることができます。血液検査にかかる費用は、view39の場合は保険適用で5,000～6,000円ほど、検査項目がさらに多い219項目は保険適用外で全額自己負担となります。

IgG フードアレルギー検査(約190項目)

アレルゲンとなる食べ物に対するIgG抗体の量を採血によって調べます。実際の検査では、少量の血液で192項目の検査することが可能です。

原因が分からない慢性的な症状がある場合に、検査で分かります。

IgG フードアレルギー検査(192項目)

自費 約40000円

(医療法人社団 慶実会 / 振津医師)

